

五反田川放水路の運用を開始します ～地域の洪水被害を軽減～

本市が平成4年度から整備を進めている五反田川放水路について、令和6年3月31日から運用を開始しますので、お知らせします。

1 五反田川放水路整備事業及び関連事業の概要

本市の河川は、全国的な整備水準である時間雨量50mmに対応する整備を進めております。

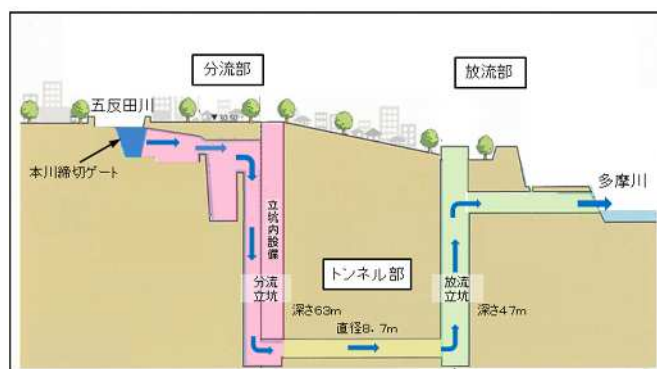
五反田川放水路整備事業は、二ヶ領本川、平瀬川を流下し、多摩川へ放流する五反田川において水位が上昇した際に、本川締切ゲートの全閉により施設内へ洪水を取込み、トンネル部を經由し直接多摩川へ放流することを目的として実施するもので、計画区間は、分流部の多摩区生田から放流部の多摩区登戸新町までの延長2,157mとなります。

この五反田川放水路整備事業とあわせて、関連事業「二ヶ領本川上流部の対策」として二ヶ領本川上流部に流入する旧三沢川流域における整備を進めていくことで、分流部下流域の一級河川五反田川及び一級河川二ヶ領本川の治水安全度の向上を図るものです。

【河川図】

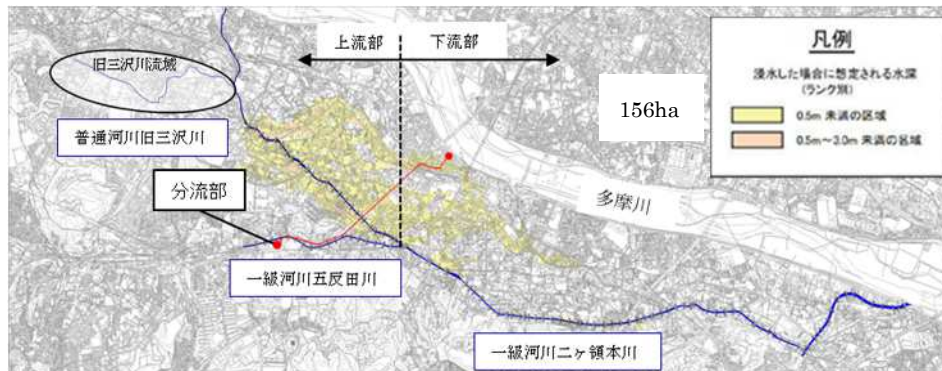


【五反田川放水路縦断面図】



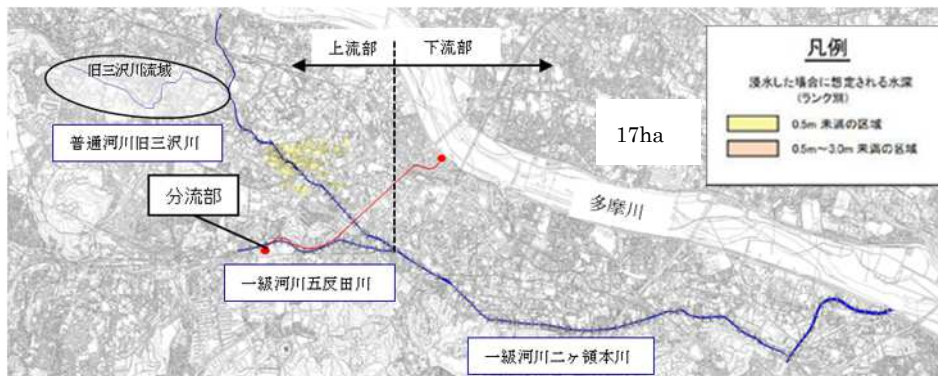
2 五反田川放水路の効果

時間雨量 90 mm (30 年に 1 回程度) 降雨における浸水想定面積は 156ha となります。すべての浸水想定面積を解消するためには、関連事業である「二ヶ領本川上流部の対策」(※①) と併せて、「二ヶ領本川下流部の対策」(※②) を行うことが必要となります。



【浸水想定面積図(時間雨量 90 mm)】

時間雨量 50 mm (3 年に 1 回程度) 降雨における浸水想定面積は 17ha となります。



【浸水想定面積図(時間雨量 50 mm)】

補足事項

- ※① これまでパンフレット等で、五反田川放水路整備事業により当該エリアのすべてが 90 mm 対応となるとしてまいりましたが、正確には、これまで事業手法が未定となっていた旧三沢川流域の洪水を処理するための関連事業「二ヶ領本川上流部の対策」が必要となります。
- ※② 令和 4 年 3 月に五反田川放水路整備後の効果を検証したところ、当該エリアすべてを時間雨量 90 mm 対応とするには、橋梁による河川の断面阻害を解消するための関連事業「二ヶ領本川下流部の対策」が必要であることが判明し、これまで対策の検討を行ってまいりました。

3 今後の取組

五反田川放水路の運用開始により、治水安全度は大幅に向上しますが、今後もすべての浸水想定面積の解消を図るため、関連事業である「二ヶ領本川上流部の対策」及び、「二ヶ領本川下流部の対策」について、令和 6 年度に整備手法の検討、及び関係機関との調整を進め、令和 7 年度以降、検討結果に基づく取組を推進し、更なる治水安全度向上に努めてまいります。

問合せ先

(五反田川放水路に関すること)

川崎市建設緑政局道路河川整備部河川課 内田

TEL 044-200-2901

(関連事業に関すること)

川崎市建設緑政局総務部企画課 藤野

TEL 044-200-2854